

本文

【白文】

楚有<sub>二</sub>祠者<sub>一</sub>、賜<sub>二</sub>其舍人卮酒<sub>一</sub>。舍人相謂曰、「<sub>①</sub>数人飲<sub>レ</sub>之不足、一人飲<sub>レ</sub>之有<sub>レ</sub>余。<sub>②</sub>請画<sub>レ</sub>地為<sub>レ</sub>蛇、先成者飲<sub>レ</sub>酒。」  
 一人蛇先成、<sub>③</sub>引<sub>レ</sub>酒且<sub>レ</sub>飲<sub>レ</sub>之。乃左手持<sub>レ</sub>卮、右手画<sub>レ</sub>蛇曰、「<sub>④</sub>吾能為<sub>二</sub>之足<sub>一</sub>。」未<sub>レ</sub>成、一人之蛇成、奪<sub>二</sub>其卮<sub>一</sub>曰、「<sub>⑤</sub>蛇固無<sub>レ</sub>足。<sub>⑥</sub>子安能為<sub>二</sub>之足<sub>一</sub>。」  
<sub>⑦</sub>遂飲<sub>二</sub>其酒<sub>一</sub>。  
<sub>⑧</sub>為<sub>二</sub>蛇足<sub>一</sub>者、終亡<sub>二</sub>其酒<sub>一</sub>。

【書き下し文】

楚に祠（まつ）る者あり、其の舍人（しやじん）に卮酒（ししゆ）を賜（たま）ふ。舍人相（あひ）謂（い）ひて曰（い）はく、「数人之（これ）を飲まば足らず、一人之を飲まば余（あま）り有り。請（こ）ふ地に画（ゑが）きて蛇を為（つく）り、先（ま）づ成る者酒を飲まん。」と。

一人の蛇先づ成り、酒を引きて且（まさ）に之を飲まんとす。乃（すなは）ち左手に卮を持ち、右手に蛇を画きて曰はく、「吾（われ）能（よ）く之が足を為（つく）らん。」と。未（いま）だ成らざるに、一人の蛇成り、其の卮を奪ひて曰はく、「蛇は固（もと）より足無し。子（し）安（いづく）んぞ能く之が足を為らん。」と。遂（つひ）に其の酒を飲む。

蛇の足を為る者は、終（つひ）に其の酒を亡（うしな）へり。

## 【注】

○祠る者…祭りをを行う者。○舍人…側近の使用人。○卮酒…大杯（卮）に入った酒。○相謂ひて…互いに相談して。○請ふ…どうか～したい（願望・提案）。○為る…ここでは「描く」の意。○引く…手元に引き寄せる。○且に～んとす…今にも～しようとする。○固より…もともと。○子…あなた（二人称）。○安んぞ能く～ん…どうして～できようか（いや、できない）。反語。○遂に…そのまま。

## 設問

- 傍線部①「数人飲之不足、一人飲之有余」を書き下し文に直しなさい。
- 傍線部②「請画地为蛇、先成者飲酒」を書き下し文に直しなさい。
- 「請画地为蛇」の現代語訳として最も適切なものを答えなさい。
- 本文中の「為蛇」「为之足」の「為」は、ここではどのような意味か。漢字一字または短い語で答えなさい。
- 傍線部③「引酒且飲之」を現代語訳しなさい。
- 傍線部④「吾能为之足」を現代語訳しなさい。
- 傍線部⑤「蛇固無足」を現代語訳しなさい。
- 傍線部⑥「子安能为之足」について、次の問いに答えなさい。
  - (1) 「子」とはここでは誰を指すか。文中の言葉で答えなさい。
  - (2) この一文を現代語訳しなさい。
- 前問で答えた句法をふまえ、「安能为之足」が実際に述べている内容（話し手の真意）を簡潔に説明しなさい。
- 傍線部⑦「遂飲其酒」の「遂に」の意味として最も適切なものを答えなさい。
- 「遂飲其酒」とあるが、酒を飲んだのは誰か。説明しなさい。
- 傍線部⑧「為蛇足者、終亡其酒」を書き下し文に直しなさい。
- 「為蛇足者、終亡其酒」を現代語訳しなさい。
- 故事成語「蛇足」の意味を答えなさい。
- 「蛇足」を使った短文を一つ作りなさい。
- 「且」の読み（送り仮名を含む）と意味を答えなさい。
  - (1) 読み（ひらがな）
  - (2) 意味
- 「固」の読み（ひらがな）と意味を答えなさい。
  - (1) 読み（ひらがな）
  - (2) 意味
- 「安能～」（安くんぞ能く～ん）に用いられている句法の名称を答えなさい。
- 最初に蛇を描き終えた者は、なぜ酒を飲めなかったのか。理由を本文に即して説明しなさい。

20. この話から導かれる教訓を簡潔に述べなさい。

21. この故事の出典（書名）を答えなさい。